

2014年度 法科大学院
第1回 既修者入学試験問題
3時限
刑法(論文式)
試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Xは、Vを自動車事故で死亡したものと見せかけて殺害した上、生命保険金を詐取することを思いついた。そこで、Yに、この計画を話し、「後で受け取ることになる生命保険金を半分渡すから、協力してほしい。」旨を告げ、Yの了承を得た。

某日、Yは、その運転する自動車を、Vが運転していた自動車の後ろに追突させ、異変に気づき下車してきたVを羽交い締めにした上、背後から多量のクロロホルムを吸引させた。その結果、Vは昏睡状態に至り、卒倒した。

Yは、倒れているVを、Vが乗っていた自動車に引き込んだ上で、同車を操作して発進し、約20分走行した後、Vを羽交い締めにした箇所から約20キロ離れた岸壁に到着した。Yは、意識を失っているように見えたVの着衣から、現金10万円入りの財布を抜き取った上で、Vが乗っている同車を岸壁から転落させ、これを海中に沈めた。

後日、同車が発見され、死亡したVが発見されたが、Vの死因は、クロロホルムを摂取したことによる呼吸停止、心肺停止等によるものか、海水を吸引したことによる窒息であるのか、特定できなかった。

その頃、Xは、Yから以上の経緯について報告を受けたが、YはVから10万円入りの財布を抜き取ったことを、Xに対して秘匿していた。また、同時期に、Xは、Vが死亡した旨の新聞記事に接した。そこで、Xは、生命保険会社Iに対して、Vの唯一の親族である旨の虚偽の申し立てをして、所定の保険金2000万円を受領した。

その後、XはYに対して「保険金1000万円が手に入ったから、申し合わせのとおり、君に半額の500万円を渡すよ。」と言って、当該金員を交付した。

設 問

上記の事例におけるX、Yの罪責について論じなさい（特別法違反の点は除く）。

(解答は全て解答用紙に記入すること)